

岩屋だよりー10号

2012年（平成24年）10月吉日

「暑さ、寒さも彼岸まで」というように、ここ数日はめっきり朝夕凌ぎやすくなってきました。彼岸花も今年は寒暖の差がうまく機能しているせいなのか、10月に入ってもまだあちこちの田畑の畔道などで見かけますが、猛暑の夏から急に秋らしくなって会員の皆さん、体調管理は大丈夫でしょうか。

●9月30日（日）第15回長崎市民体育レクリエーション祭における長崎市合気道連盟主催の演武大会が諏訪体育館で11時～開催されました。

案内を受けた当道場（合気道北星館）からも3組が参加し、日頃の稽古の成果を披露してきました。下記・会場入口ポスターと、終了後全員での集合写真



当道場の3組、まず森脇四段と佐野直人君（小学3年生）が、自由技を披露し、小学3年生とは思えぬしっかりした演武に思わず会場から拍手が！



つぎに、佐野兄弟の兄、裕大君（中学1年生）が村里六段と自由技を披露、さすがに中学生ともなると技も多種多様ながらうまくこなし、村里さんと呼吸の合った演武を披露してくれました。



最後は、当館の浜田七段が、村里六段と吉田五段を相手に武器技や二人掛かりの自由技を披露、勤務の都合等で三人なかなか揃わず、ほとんどぶっつけ本番でしたがやわらかく流れるような技の連続でした。



と、ということで今回は「岩屋だより」の記念すべき？第10号の特集の予定でしたが、主に上記市民レクのご報告とさせていただきます。

●年内今後の北星館関係の主な行事予定ですが、かねて熊本県阿蘇市に建設中だった普及連盟育翔館の木村功先生の専用道場の落成式が来る10月28日（日）現地で開催されますので、当館からも幹部が出席予定です。

また、11月17日（土）は市内油木町の県立体育館（アリーナかぶとがに）で九州各県から普及連盟の各道場をお迎えしての交流会を開催します。

受入れに万全を尽くすことは当然で会員一同のご協力をお願いします、また交流会の中で当館の特色である学童部の稽古紹介なども学童部主務の吉田五段が考えているようですので、学童部の諸君もこれから気候も良くなることだし、気合いを入れてより一層稽古に励みましょう。

なお、当館会員で空手家でもある窪田氏から、「機会みて自分が教えている空手教室の子ども達に合気道がどういうものか紹介して欲しい」旨の話がアツていますので、年内に是非実現したいと思います。

それらが済んだら、今年もいろいろありアツという間の1年間でしたが、慰労を兼ねた恒例の忘年会をやりましょう。今年は少し一般の新会員も増え楽しみです、幹事さんに指名された方はヨロピク（これも修行です！）。